

Stripe情報の取得ステップ

ステップ1

<https://dashboard.stripe.com/register>

上記のアドレスをクリックし、登録を済ませ、
ログインする

ステップ2

左メニューにある「APIキー」をクリックする

ホーム

支払い

残高

顧客

Radar

Billing

Connect

注文

開発者

API キー

Webhook

イベント

ログ

テストデータの表示中

ビジネス設定

API キー

API 認証についてもっと知りたい →

テスト環境用の API キーが表示されている場合は、表示を本番環境用のキーに切り換えます。

テストデータの表示中

Standard keys

NAME	TOKEN	LAST USED	CREATED
公開可能	pk_test_A2tQaK0QzS3QX5ZZWR9BgqEg	—	2018年6月26日
シークレットキー	テスト用キーを表示	—	2018年6月26日

Restricted keys

+ 制限付きのキーを作成

NAME	TOKEN	LAST USED	CREATED
制限付きのキーはありません			

ステップ3

右の「テストデータの表示中」の横にある
ボタンをクリックし本番環境にする

※本番環境にするためには追加申請が必要な場合があります

- ホーム
- 支払い
- 残高
- 顧客
- Radar
- Billing
- Connect
- 注文
- 開発者
 - API キー
 - Webhook
 - イベント
 - ログ
- ☒ テストデータの表示中
- ビジネス設定

API キー

テストデータ

[API 認証についてもっと知りたい →](#)

📘 テスト環境用の API キーが表示されている場合は、表示を本番環境用のキーに切り換えます。

☒ テストデータの表示中

Standard keys

NAME	TOKEN	LAST USED	CREATED	
公開可能	pk_test_A2tQaK0QzS3QX5ZZWR9BgqEg	—	2018年6月26日	...
シークレットキー	<div>👁️ <input type="button" value="テスト用キーを表示"/> 🙈</div>	—	2018年6月26日	...

Restricted keys

[+ 制限付きのキーを作成](#)

NAME	TOKEN	LAST USED	CREATED
制限付きのキーはありません			

ステップ4

以下の「公開可能」と「シークレットキー」と書かれたキーのコード2つを松本に送信

※必ず右上の「テストデータ」ではないことを確認してください。

ホーム

支払い

残高

顧客

Radar

Billing

Connect

注文

開発者

API キー

Webhook

イベント

ログ

テストデータを表示

ビジネス設定

API キー

API 認証についてもっと知りたい →

本番環境用の API キーが表示されている場合は、表示をテスト環境用のキーに切り換えます。

テストデータを表示

Standard keys

NAME	TOKEN	LAST USED	CREATED
公開可能		—	2018年6月26日
シークレットキー		—	2018年6月26日

Restricted keys

+ 制限付きのキーを作成

NAME	TOKEN	LAST USED	CREATED
制限付きのキーはありません			

補足

シークレットキーを取得する際に、
コンプライアンスについての回答が必要と
なりました。次のページのように
ご回答いただければ幸いです。

補足

クレジットカード情報を保持する予定はありますか？

お客さまのサーバー上にカード情報を保存したり、電話にてクレジットカード情報を伺う予定の場合は[はい]とお答えください。もし全てのStripeを通した決済におけるカード情報がCheckout、Elements、Invoices、mobile SDKをご利用される予定の場合は[いいえ]とお答えください。

いいえ

PCI-DSSに準拠される予定ですか？

PCI 準拠のための必要事項はお客さまの Stripe の組み込み状況に応じて変わります。カード情報の処理に必要な条件を満たしていることをご確認ください。PCI 準拠の必要事項に関する詳細は[こちら](#)をご覧ください。

はい

お客さま、もしくはお客さまの代替をする連結アプリケーション（Connect Standard）は追加的な手段により顧客の本人認証を行なう予定ですか？

例: [3D Secure](#)

はい

お客さま、もしくはお客さまの代替をする連結アプリケーション（Connect Standard）における全ての決済において券面認証を行なう予定ですか？

クレジットカードのセキュリティコード ([カード確認番号 \(CVC\)](#) と呼ばれる) を Stripe に送信することを常に推奨しています。Checkout、Elements、iOS、および Android の SDK はセキュリティコードの収集を標準装備しています。

はい

お客さま、もしくはお客さまの代替をする連結アプリケーション（Connect Standard）において不正配送先情報を利用した不正対策を行なう予定ですか？

例：自社で不正な配送先などのデータを蓄積して活用することもしくは外部の不正住所を検知するサービスを利用すること。

はい

過去 5 年間に[特定商取引法](#)違反もしくは過去に[消費者契約法](#)違反による敗訴判決を受けたことがありますか？

いいえ